MedPeer

医師 2,000 人超の調査結果を多数掲載中です
https://www.facebook.com/medpeer

Press Release

2013年9月26日
メドピア株式会社

「向精神薬の処方状況」について
半数近くは自分で処方せず、専門医に紹介している

医師約6万人が参加する医師専用サイト「MedPeer」（メドピア、https://medpeer.jp/）を運営するメドピア株式会社<東京都渋谷区、代表 石見陽（医師）>は、会員医師を対象に「向精神薬の処方状況」についてのアンケートを実施し、以下のとおり、結果を取りまとめました。

医師専門サイトMedPeer調査結果：「向精神薬の処方状況」について（総回答：3,144人）

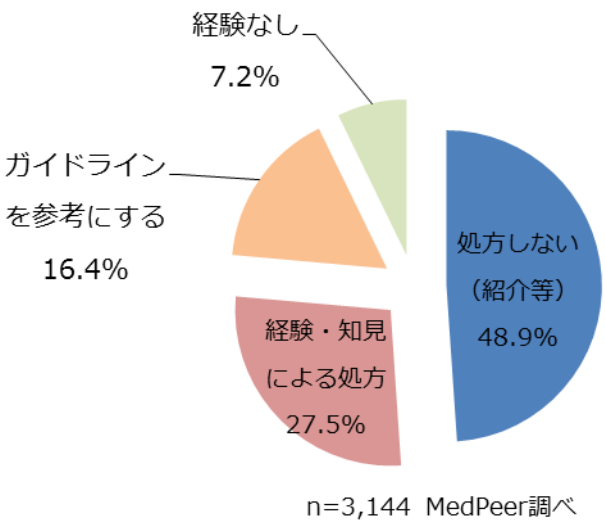
順位	回答	回答数（人）	占有率
1	処方しない（専門医への紹介等）	1,538	48.9%
2	自身の経験・知見に沿った判断により処方する	864	27.5%
3	ガイドラインを参考に処方する	515	16.4%
4	認知症の患者さんを経験したことがない	227	7.2%
-	合計	3,144	100.0%

サマリー：

- 医師専門サイトMedPeer（メドピア）に登録する医師（6万人以上）を対象に**「向精神薬の処方状況」**について質問をしたところ、**3,144**件の回答が寄せられた。
- 「処方しない（専門医への紹介等）」と回答した医師が最も多く、48.9%だった。「まずは専門医に紹介するが、安定したら継続処方をしていく」といったコメントが多い。
- 「自身の経験・知見に沿った判断により処方する」は27.5%。「自分の使い慣れたものの範囲内で使用している」「効果の強い投薬が必要になる場合は専門医に紹介する」といったコメントがみられた。
- 「ガイドラインを参考に処方する」は16.4%。「地方では精神科診療に対する垣根が高い」「軽度と思われるものまで紹介はできない」「夜間の緊急時の臨時処方」といった理由で、まずはガイドラインを参考に処方を行うことになるようだ。

MedPeer

▼総合結果



回答コメント（回答一部を抜粋）

「処方しない（専門医への紹介等）」　1,538件

・まずは専門医に紹介しますが、安定したら継続処方をしていきます。状態に変化があったり、自身の判断での調節が難しいと判断したケースは改めて依頼しています。(40代、一般内科)

・既に専門医から処方されている場合には継続処方をすることはありますが、処方開始時は専門医の判断に任せるべきだと思います。（50代、整形外科・スポーツ医学）

・入院患者の継続処方以外は自分ではほとんど処方はしないです。専門医に紹介します。（30代、消化器外科）

・専門の先生ですら合う薬を見つけるまで苦労されているようなので、自分では手は出しません。（30代、消化器外科）

・認知症の程度は外来の短時間では、把握が困難です。専門医に相談しています（40代、代謝・内分泌科）

・認知症の患者さんを診ることはありますが、向精神薬を処方することはありません。（50代、整形外科・スポーツ医学）

・向精神薬の急激な投与中止による副作用が最近問題になるケースをよく聞く。知識のあまりない医師が処方すべきでない。（50代、小児科）

・認知症の診断、症状の進行などは判断が困難なので、自分では処方しません。（40代、一般内科）

・眠剤は処方することもありますが、認知症対策薬、統合失調症、うつ治療薬などは専門診受診を促します（30代、整形外科・スポーツ医学）

・まず専門医の先生に見て頂き、処方しています。効果がない場合などは再度診察を依頼しています。（30代、整形外科・スポーツ医学）

・近隣に認知症を得意としていらっしゃる精神科の先生がおられるため、そちらにお願いしています。（40代、腎臓内科・透析）

「自身の経験・知見に沿った判断により処方する」　864件

・ガイドラインを参考にしながらも、自身の経験から処方することが多いです。それでも駄目な場合のみ、専門医に紹介

していますが、滅多にその必要性はないです。（50代、代謝・内分泌科）

・せん妄を伴う高齢者の入院が多く、これを少ないスタッフで管理するには向精神薬は必須です。いちいち精神科に受診はできませんので。（50代、脳神経外科）

・教科書通り使って、良かったことより悪かったイメージが大きいです。経験が何より。（50代、一般内科）

・副作用についてご家族によく説明し同意を得たうえで処方します。（40代、精神科）

・自身の判断で処方するが、効果の強い投薬が必要になる場合は専門医に紹介する。（30代、腎臓内科・透析）

・効果の予測、持続性、副作用の抑制などが非常に難しいので、できるだけ投与しないようにしています。（50代、一般内科）

・今までの経験から各種薬剤を処方しております。ガイドラインでは患者さん個々に関してどの薬剤を投与して良いかわかりません。（50代、一般内科）

・不勉強ですが、自分の使い慣れたものの範囲内で使用しています。（40代、神経内科）

・施設入所者は多いので、よほどのことでない限りは、自分で処方する。専門に受診させても、結果がよくないことが多い。長期にみている方が状態を把握しやすいのではないかと感じる。（60代、一般内科）

・複数の向精神薬が必要と判断した時点で精神科医に紹介しています。（40代、代謝・内分泌科）

・出来るだけ副作用が少なくい薬剤を選択すると当時に、家族に悪化させないための生活指導を行っています。（50代、精神科）

・自分で処方はしますが、専門医の診察を最低１回はうけるようにしていて、変化があればその都度専門医に紹介はしています。(50代、一般内科)

「ガイドラインを参考に処方する」　515件

・ガイドラインを参考にしながら、経験豊富な医師のアドヴァイスを含めて自分で処方しています。（40代、精神科）

・BPSDを多くみています。ガイドラインは参考になりますが、患者さんの状態も千差万別ですので、状態を見ながら工夫しているのが実状です。（60代、一般内科）

・ある程度エビデンス、ガイドラインに従った処方を前提に動いておりますが、患者さんの個別的な状況が優先されることも多いです。（30代、精神科）

・夜間の緊急時の臨時処方が専らです。翌朝には専門医にコンサルトすることが多いです。（30代、麻酔科）

・出来るだけ専門医へ紹介しますが、自分で処方するときにはガイドラインを参考にします。（30代、呼吸器外科）

・地方の為に精神科診療に対して患者さんも紹介されることに垣根が高いので、まずはガイドラインを参考に処方を行うことになります。薬剤情報で向精神薬であることが患者さんもしくは家族にもわかりますので、投薬治療をする際の説明はその旨行います。（50代、一般内科）

・ガイドラインの内容はごくごく当たり前の妥当な内容です。あの内容をはみ出す診療は、高齢者の投薬としては不適切になると考えます。（40代、一般内科）

・使わなくて済むのなら一番ですが入院中の認知症合併患者はスタッフや介護家族を極度に疲弊させる原因となっているのでやむなしです（40代、一般内科）

「認知症の患者さんを経験したことがない」　227件

・精神科疾患はすべて専門医にお願いし、自分では診ないようにしています。（50 代、泌尿器科）

・今のところ経験がありませんが、必要があれば専門家に紹介すると思います。（40 代、小児科）

・投薬が必要なほどの BPSD を持つ認知症患者を経験したことがありません。（50 代、産婦人科）

MedPeer

※調査方法

□期間：

2013年8月19日（月） ～ 2013年8月25日（日）

□有効回答：

3,144人（回答者はすべて、医師専門サイトMedPeerに会員登録をする医師）

□設問：

医師専用サイト MedPeer内の「ポスティング調査」コーナーにおいて、MedPeer事務局（運営：メドピア株式会社）より、以下の質問を投げかけました。

調査フォーム（設問文 抜粋）

社会の急激な高齢化に伴い、認知症の患者さんは増加の一途をたどっています。皆さまも認知症の患者さんを診察する機会が増えてきているのではないかと思います。

認知症の患者さんには症状に応じた「向精神薬」が広く処方されています。しかし、その用量調整は難しく、逆に症状を悪化させる危険性があることも問題視されています。こうした向精神薬の使用について、2013年7月12日に厚生労働省のサイトで、「かかりつけ医のためのBPSDに対応する向精神薬使用ガイドライン」が公表されました。

皆さまの認知症の患者さんに対する向精神薬の処方状況について、以下の選択肢より、適当なものをご選択いただき、コメント欄にその理由をご記入ください。

◆参考

2013年7月12日に厚生労働省のサイト内で「かかりつけ医のためのBPSDに対応する向精神薬使用ガイドライン」が公表されました。

http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000036k0c.html

---

1. 自身の経験・知見に沿った判断により処方する
2. ガイドラインを参考に処方する
3. 処方しない（専門医への紹介等）
4. 認知症の患者さんを経験したことがない

【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社　管理部　TEL：03-6805-0345　/ e-Mail：info@medpeer.co.jp

【記事掲載に際してのお願い】

・「医師専用サイト MedPeer 調べ」、であることの明記をお願い致します。

・web 上での引用に際しましては、https://medpeer.jp へのリンクをお願い致します。

MedPeer

■MedPeer（メドピア）とは　- 2013年7月末日時点 -

MedPeer は、メドピア株式会社が運営する、医師専用のインターネットサイトです（URL: https://medpeer.jp/）。会員医師同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」などを MedPeer 上に設け、”臨床の決め手がみつかるサイト”として、多くの医師に利用されています。現在の会員は 6 万人以上で、日本の医師の約 4 人に 1 人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、約 1,700 の医療用医薬品に対して、25 万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。

以上